

# 宇和島市文化財保存活用地域計画 概要版

## ふるさとの記憶を受け継ぎ、育み、伝える ー歴史文化が息づく、誇りある宇和島へ

宇和島市には、城下町文化をはじめ、宇和海のリアス海岸に根ざした浦方の暮らし、三間盆地の農耕文化など、多様で魅力ある歴史文化が受け継がれています。本計画は、こうした文化財の価値を見つめ直し、確実に次世代へ継承するためのものです。さらに、学校教育や地域での「教育普及」、デジタル技術による「アーカイブ化」を進め、観光や産業などの地域づくりに活かしていくための基本的な方向性を示すものです。

### 1 宇和島市の文化財を取り巻く環境

本市は、複雑に入り組んだリアス海岸や海まで迫る山地、三間盆地などの豊かな自然環境のもとで、独自の歴史文化を育んできました。市域には『宇和島城』や『遊子水荷浦の段畑』といった記念物や、『津島町岩松』や『旧毛利家庄屋住宅』といった建造物などが残されています。また、『吉田祭のお練り行事』や『牛の角付き習俗』（闘牛）などの祭礼・習俗、さらに「鯛めし」「六宝」「じゃこ天」に代表される豊かな食文化など、多彩な文化財が息づいています。

一方で、人口減少や少子高齢化の進行、祭礼や民俗芸能の担い手不足、未指定文化財や無形文化財の把握不足、保存施設の老朽化、自然災害への備えなど、文化財の継承をめぐる課題も大きくなっています。

### 2 計画の目的・位置づけ・期間

本計画は、歴史文化と文化財の価値を市民と共有し、総合的な保存・活用の方針を明らかにするものです。「宇和島市総合計画」をはじめとした市の関連計画や「愛媛県文化財保存活用大綱」と整合を図りながら、今後10年間の取組を示す行動計画として位置づけます。計画期間は令和9（2027）年度から令和18（2036）年度までの10年間です。

#### 【宇和島市の文化財】

本計画では、指定・登録文化財だけでなく、地域に伝わる暮らしやことば、伝説、地名、食文化なども含めて、宇和島らしさを形づくる文化財として捉えます。

令和8（2026）年8月時点で167件の指定等の文化財があり、これに加えて約500件の未指定文化財が確認されています。

#### 【宇和島市の歴史文化の特徴】

##### 1 伊達家が育んだ「お町」文化と先覚者が歩んだ幕末の宇和島

『宇和島城』を中心とする城下町、吉田陣屋町や『吉田祭のお練り行事』、『津島町岩松』の町並みなどに見られる歴史文化

##### 2 海の恵みを糧に、自然と向きあい続けた宇和海の暮らし

『遊子水荷浦の段畑』に象徴される半漁半農の暮らしや、真珠・魚類養殖、柑橘栽培などに見られる歴史文化

##### 3 農耕の知恵とともに紡がれる、古代から続く里の暮らし

「戸雁遺跡」、『清良記』、『旧毛利家庄屋住宅』に見られる三間盆地の知恵と生業の歴史文化。

### 3 基本的方向性

#### (1) 深く知り、多様に学ぶ

指定・未指定を問わず、文化財の調査研究や記録保存を進めます。これらをデジタル技術で「アーカイブ化」して一元管理するとともに、学校教育や生涯学習での「教育普及」を推進し、地域全体で価値を共有します。

#### (2) 守り、つなぐ

『宇和島城』、『遊子水荷浦の段畑』、『津島町岩松』、『吉田祭のお練り行事』などの指定文化財を確実に守り、各保存団体の継承活動への支援や、防災・減災対策を計画的に進めます。

#### (3) 活かして、育む

多種多様な文化財を学校教育や観光、まちづくり、地域産業の振興と結びつけます。宇和島の新たな魅力として育て、地域活力の向上につなげます。

### 4 主な課題と取組

基本的方向性	主な課題	主な取組
深く知り、多様に学ぶ	食文化や未指定文化財の把握が十分でない	食文化や未指定文化財の実態調査
	里や宇和海の歴史文化の価値が十分に見えていない	『戸雁遺跡』や『清良記』関連資源、沿岸部の浦方文化の資料整理、調査
	資料のデジタルアーカイブが進んでいない	映像記録、古文書・歴史資料整理や調査成果のデジタルアーカイブと一元的な保存管理
	学校教育や地域学習における文化財の活用にもられる地域格差	宇和島、三間地区での活用促進
守り、つなぐ	『宇和島城』の保存修理と活用の両立が必要	『宇和島城天守』、石垣等の保存修理と解説充実、作事所の整備
	段畑や歴史的町並みの継承が課題となっている	『遊子水荷浦の段畑』の保全・活用方策の整理、『津島町岩松』の保存修景
	祭礼文化の担い手不足や自然災害への備えが必要	『吉田祭のお練り行事』などの継承支援文化財防災、減災の啓発普及
活かして、育む	歴史資源や食文化の魅力発信、教育・観光等への連動が十分でない	「新伊達博物館」を基点とした、城下の関連文化財を結ぶ周遊・展示の充実 デジタルアーカイブを活用した多様な情報発信 「鯛めし」・「六宝」・「じゃこ天」など郷土料理の文化財としての普及啓発

※上表は、案本文の内容をもとに、概要版掲載用に主な課題と取組を簡潔に整理したものです。

### 5 推進体制

本計画は、宇和島市教育委員会を中心に、庁内関係部局、文化財所有者、地域住民、保存団体、学校、事業者、学識経験者など、多様な主体が連携しながら推進します。計画の進捗状況の確認を毎年行い、計画期間の前半5カ年を経過した時点で、必要であれば見直しを行い、持続可能な保存活用の仕組みづくりを進めます。